

我ら、 レイボウ族

【第12回】

日本がハワイの聖地を
壊した国にならないために

古代フラダンサー
水野みさを

マウナケア関連にここで触れるのは4度目になるけど、マウナケアで何が起きているの？という方の為にまた書こうと思いました。

マウナケア・ムーブメントは こうして起きた

日本、米国、カナダ、中国、インドの5か国共同で、ブラックホール研究の為に直径30mの次世代天体望遠鏡(TMT)建設地にマウナケア山頂が選ばれたのが2009。ネイティブたちは反対し続けたが昨年7月ハワイ州政府協力のもとに工事が着工されようし、それを阻止しようと座り込みが始まった。ハワイのネイティブたちにとって神聖な山の頂上に、地上18階相当の天文台を建ててしまったら、気候学的にも水源汚染環境も懸念される。科学が悪いと言っているのではない。母なる地球とのつながりを忘れて科学者の夢だけを追求していったTMT計画。何もマウナケアに建てなくてもよいではないか・・・

山を見守る彼ら

をKia`i(キアイ)と呼び、キアイの中にはハワイ社会で尊敬を集めるクムフラや教授たちもいて、非暴力なクプナ(年長者)が次々と逮捕連行されると、SNSが拡散され、世界中のネイティブたちが支援に集まった。

Ku Kia`i Mauna(クー・キアイ・マウナ：山を守る為に立ち上がろう) Aloha Aina(アロハ・アーイナ：大地を愛そう)そしてKapu Aloha(カプ・アロハ：非暴力で祈り行動しよう)のスローガンで、マウナケアの祈りの場プウフルフルにはハワイだけでなく世界中のネイティブやネイティブ・マインドの人々が建設工事が進行しないように山を見守り、プロトコルのフラとチャントを続けている。

アイヌ・カナカ・プロジェクト

今年2月頭に、アイヌ・カナカ・プロジェクトの面々がハワイ島マウナケアに向かった。「アイヌ」もハワイ語の「カナカ」も「人」を意味する。環太平洋でつながる日本列島のアイヌ民族の長老が、ハワイ先住民にとって最も大切な信仰の山にご挨拶し、その地の人々と交流することを目的とした旅だった。

代表として、アイヌのエカシ・浦川治造さん(2004WPPD、ホクレア号が日本に立ち寄った際もアイヌの儀式をされた)、フチ・宇梶静江さん(詩人、絵本作家)、次世代にアイヌ文化を紡いでゆく浦川まきこさん(マキコランド主宰)、そして儀式、歌やムックリ演奏のできる札幌在住のアーティスト石井ポンペイさん。プロジェクトを企画したラーファイマウナケアの川内こうごさんは語る「沢山のイベントが重なり強硬スケジュールでしたが、目的のアイヌとカナカを儀式でつなぐことができました・・・地球を守ってきた先住民達の知恵が健康な環境をこの惑星に取り戻すための鍵となっています」。彼らは、空の父ワーケアが一番近く、雪の女神ポリアフが住む聖なる山マウナケアだけでなく、火山の女神ペレのキラウエアでも儀式をつなぎ、ワイメア桜祭りやハワイ語教育の学校巡りをして地元ハワイアンと儀式、音楽や踊りの交流をした。

この素晴らしい旅を身体的理由と母の健康から参加できなかった私は「天は私に何を伝えようとしているのか」と葛藤したが、「つながること。今自分がいる場所で自分のできることをしていくこと。心のうちを率直に伝えること。いつも愛と感謝」と受け入れることにした。なので、違う切り口でマウナケアのこと再び書いてます。

後日、私は、ハワイ島のこの旅から帰国ほやほやの浦川まきこさんを訪ねた。彼女は、アイヌ刺繍教室を各地で開き、アイヌ文化を



伝えていく「イレスチセ」(アイヌの小さな学校)を始めたばかりだ。この日は、約15年前に行われたまきこ&功さんの貴重なアイヌ式結婚式のDVDを美味しい炭火コーヒーで鑑賞した後、チャランケの輪の中でまきこさんは語った。「はじめ、このアイヌ・カナカ・プロジェクトのお話を聞いた時、あまり現実のものと思えなかったけど、昨年11月末、ハワイ島からハヴァネさんがみえてお話をされた時、彼女の携帯が鳴ったの。それは彼女の母親からで、ハヴァネさんがひと言、ちょっと待ってね、母からの電話はどんな状況でも必ずとることにしてるの。母は教師の仕事をやめてまでマウナケアを守る活動に専念していて、いつ逮捕されてしまうかわからないから、と言っていたのを聞いて、あー、この旅は現実なんだ。これをやり抜けば、必ず変容が起きると言ったハヴァネさんの声を信じ、しっかりと受け止めようと思った」と。

ハヴァネさんの言う変容とは、マウナケアだけでなく地球全体の意識の変容なのだろう。ハヴァネさんは素晴らしいシンガーであり、祈りのフラダンサーだ。マウナケアでチャントングし続けた彼女の声はマウナケアの大地のようである。彼女のご家族は、TMT計画が決まった2009以来から見守り活動を続けている。昨年の現場ではクプナ(年長者)がフロントラインに立ち、若者たちを後ろに回し、自分たちが捕まっていた。ハヴァネさんの母の言葉「あなた達は捕まらないで、世界に伝えていって」に私は涙を流してしまっ

た。今年3月末、ハヴァネさんのソウルブラザー、ラナキラさんが来日し、プロトコルのフラWSとお話会、4/1-5富士山たすきランが予定されている。詳細 <https://hawaii-makoa.com/blog/2253>, 問い合わせ hawaii-makoa@gmail.com まで アロハ&ロカヒ あいとへいわ。

今年3月末、ハヴァネさんのソウルブラザー、ラナキラさんが来日し、プロトコルのフラWSとお話会、4/1-5富士山たすきランが予定されている。詳細 <https://hawaii-makoa.com/blog/2253>, 問い合わせ hawaii-makoa@gmail.com まで アロハ&ロカヒ あいとへいわ。



←現地での交流でハワイアンとアイヌの踊りを共に(ラーファイマウナケアジャパン写真提供)

←昨年11月のハヴァネさん。お話会最後に美しい歌声を披露(内尾ゆかり撮影)

マウナケアで、エカシ浦川治造さんにご挨拶の儀式(ラーファイマウナケアジャパン写真提供)

ラナキラさんのWSは、コロナ市中感染の広がりを懸念して延期しました